

関係各位

趣 意 書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当学会の内容をご確認いただき、ご理解の上、ご支援ご協力を頂きたく存じます。

現在、日本は世界に先駆けて超高齢社会に入り、健康長寿を如何に維持するかは大きな社会問題となっております。日本をはじめ欧米の先進国では、臓器別診療が普及し、病気の専門性が細分化していますが、長寿になれば健康維持の為の運動もままならず、臓器別診療のアプローチも容易ではないケースが増えてまいります。その点、和温療法は非薬物的・非侵襲的治療で、患者さんの心身に優しい「和み・温もり」療法で、すでに確立された臓器別治療と併用することにより相乗効果が大いに期待できます。

当学会は、和温療法学の研究推進とその効果の臨床的普及を図り、これを通じて治療医学全般の発展と国民の福祉向上に寄与することを目的とし、学会を設立いたしました。

日本は研究費や開発費が削減され続けており、研究の質を示す被引用件数の多い学術論文数の国別順で、日本はこの10年で日本の論文数は4位から12位に下がり、上位10ヶ国から転落しました。科学的に裏付けされた非薬物的・非侵襲的治療の和温療法は、これからの新時代に必要不可欠な医療となっていくでしょう。和温療法の普及と社会貢献を実現させる上で重要な要素の一つに資金面の充実は否めません。

以下の計画を遂行したく、当学会へのご理解とご支援ご協力を賜れば幸甚に存じます。

敬具

1. 名称： 和温療法学会
2. 意図： 和温療法学の研究推進とその効果の臨床的普及を図り、これを通じて治療医学全般の発展と国民の福祉向上に寄与することを目的とする。
3. 概要： ①学術集会の開催一年1回、口頭発表 and/or On line 発表
②学会誌の刊行—On line Journal
③基礎的及び臨床的研究、疫学的調査及び研修を含む実地教育
④講習会の開催
⑤関係図書の刊行
⑥内外の各種関係学術団体との連絡および調整
⑦その他、本会の目的を達成するために必要とされる各種事業
4. 期間： 事業年度の4月1日より翌年3月31日

和温療法学会

理事長 鄭 忠和（和温療法研究所 所長/獨協医科大学 特任教授）

副理事長 豊田 茂（獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科 主任教授）